8ページ

教えて　せたがやの星

第21回

サッカー日本代表　ごんだ　しゅういち選手

なりたい　という強い気持ちを持ってやることが、夢をかなえるためには絶対必要です。

サッカー日本代表ゴールキーパーの　ごんだ　しゅういち選手にインタビュー。12月21日に権田選手の出身校である弦巻小学校で、児童との交流イベントがあり、その際にインタビューをさせていただきました。ワールドカップでの経験談や、子どもたちへのメッセージを語っていただきました。

プロフィール

1989年３月３日生まれ。世田谷区立弦巻小学校、弦巻中学校卒業。ポジションはゴールキーパー。2007年FC東京トップチームに昇格し、SVホルン、サガン鳥栖、ポルティモネンセSCを経て2021年より清水エスパルスに在籍。日本代表にも名を連ね、フィファワールドカップカタール2022にも選出され、日本のゴールマウスを守った。

ワールドカップを振り返って

グループリーグ２戦目のコスタリカ戦は惜しくも敗れ、決勝トーナメント進出が厳しい状況となりました。スペイン戦に向けてチームでどのような準備をされましたか。

正直、精神的ダメージをみんな受けました。とにかく予選を突破するため、僕らはシンプルに、スペイン戦は勝つんだということをみんなで話していました。勝つための準備を全員で、本当に強い気持ちを持ってやりました。日本代表の強みは、みんなでしっかりコミュニケーションを取って、本音で話し合いながらチームをつくっていくことです。チームには選手が26人いて、スタッフも入れたら50人くらいいるので、みんな同じ意見ってあり得ないんですよね。それぞれの考え方があって、いろんな方向に行くんですけれども、まずは吉田キャプテンが選手間で集約したことを森保監督に伝えて、最後は森保監督がこの道に進むというのを導いてくれました。

今回のワールドカップを振り返られてどのように感じられますか。

ベストエイトに行きたかったので、その悔しさが大きいです。どうしたら自分の力でベストエイトに日本代表を連れていけたかなということが、ずっと頭をめぐっています。ただ、日本に戻ってきて、いろんな方に、ドイツやスペインという強豪に勝って本当にすばらしかった、感動した　と言っていただけるので、個人的にはいろんなプレッシャーに耐えながらしっかり戦えたことはよかったかなと思います。

プレッシャーを乗り越えるには何が必要ですか。

自分を信じることだと思います。僕もこのままでいいのかなとか、自分で大丈夫かなと思ったこともたくさんありました。自分はずっとサッカーをやってきて、厳しい練習も、苦しいことも、いろんな我慢もして、今、日本代表という場で戦えています。今まで自分がやってきたことを信じられなかったら、自分が頑張ってきたことを全部否定することになってしまうので、最後は今までやってきたことをしっかり出そうという気持ちでした。

元気いっぱい、楽しく

ご自身の成長につながるターニングポイントとなった出来事や試合はありますか。

正直あまりなくて、ただ、小学生のときに自分の今の成長に向けてすごく大事にしていたなと思うのは、よく寝てよく食べることです。それを日常の中でやっていたことで、風邪も引かなかったですし、体も大きくなりました。ターニングポイントになった試合というよりは、幼少期はまずは元気いっぱいでいたことが一番大きいのかなと思います。

子どもの頃を振り返って、権田選手が日本代表の守護神を務めるまでの選手になれた要因というのは、どのようなところにあると思いますか。

まずは楽しくやることが一番大事だと思っていて、やらされてもやっぱり疲れちゃうんですよね。親がワールドカップを見て子どもにサッカーをやらせたいというのではなく、本当に子どもがやりたいというときに一生懸命やらせるという感覚が大事だなという気がします。僕は親からサッカーを強要されたことは一度もなくて、逆に、あなた勉強しないとサッカーを続けられないよ　と言われて、それなら勉強を頑張る　というタイプでした。

子どもたちみんなに可能性がある

今後の目標を教えてください。

一つでも上のレベルに行くこと。やっぱりサッカーをやっているからには今よりもうまくなりたいし今日よりも明日のほうがいい選手になっていたいというのを今までずっと追い求めてきて、これからも追い続けると思います。どういうところを目指したいですかと言われたら、行けるところまで行きたいなと思います。ベストエイトじゃなくて、ベストフォーに行きたいし、さらにその上、ワールドカップで優勝する。優勝するために自分が活躍できるようなレベルまで自分自身も上げたいですし、日本のサッカーというのをそこまで上げたいなというのはすごく思っています。

最後に世田谷区の子どもたちに向けてメッセージを。

僕も世田谷区で育った子どもなので、本当に身近に感じてもらいたいと思っています。みんな子どものときって、サッカー選手を見て、野球選手を見て、パイロットを見て格好いいなと思ったり、夢がそれぞれあると思います。僕もみんなと一緒で子どもの頃はそういう夢を追いかけていた一人でした。こうやって同じ町で育った僕がサッカー選手になれたのだから、みんなにも可能性は絶対にあります。自分で、無理だよと思わないでほしいと思います。まずは一生懸命やってみる。周りから何でそんな一生懸命やっているのと言われても、俺はなりたいからという強い気持ちを持ってやることが、夢をかなえるためには絶対必要だと思います。世田谷区から世の中で頑張って貢献できる人がたくさん出てきたらうれしいですし、その可能性がみんなにはあるので頑張ってください。そして楽しんでください。

問い合わせ先　教育総務課　電話5432-2745　ファックス5432-3028